

備前市事務事業評価表

事務事業名	体育施設管理運営事業(吉永)	コード	03-02-06-06
		担当課・係	市民スポーツ課(吉永)
		担当者	金藤康樹
事業実施期間	昭和56年度～	電話	84-3776
総合計画 事業(政策)体系	大項目(基本目標)	地域文化と人が輝くまちづくり	
	中項目(基本施策)	生きがいのあるまちづくり	
	小項目(施策)	スポーツ・レクリエーション	

事業について	
目的 (何のために)	地域における市民スポーツの総合的な活動拠点として、利用者が気軽に楽しく且つ安全に利用できるよう、施設の運営・維持管理を行う。
対象 (誰・何を対象に)	施設利用者
内容	体育施設(体育館・武道場・グラウンド2面・テニスコート・艇庫)の維持管理

事業の結果			
実施項目	17年度	18年度	
	回数など(単位)	回数など(単位)	回数など(単位)
施設利用者(体育館等)	16,774 人	19,237 人	
"(グラウンド)	9,835 人	10,892 人	
"(テニスコート)	904 人	2,724 人	
"(艇庫)	460 人	603 人	

事業費 (単位:千円)	事業費		財源		事業費		財源	
	直接事業費	9,053	間接補助金等		直接事業費	7,137	間接補助金等	
	人件費	2,755	委託費負担	204	人件費	2,490	委託費負担	228
	合計	11,808	市債		合計	9,627	市債	
	一般財源等	11,604		一般財源等	9,399		0	

必要人員	195 人	190 人	
結果指標			
結果指標名	施設利用者(体育館)	施設利用者(体育館)	
結果指標量	16,774	19,237	
単位	人	人	
対前年比	-	114.68%	0.00%
活動にかかるコスト	5,868,134 円	5,456,980 円	
単位当たりコスト	350 円	284 円	
結果指標			
結果指標名	施設利用者(グラウンド・テニスコート)	施設利用者(グラウンド・テニスコート)	
結果指標量	10,739	13,616	
単位	人	人	
対前年比	-	126.79%	0.00%
活動にかかるコスト	3,049,876 円	1,380,498 円	
単位当たりコスト	284 円	101 円	

事業の成果			
どのような成果を得ようとしているか	ハードソフト両面の取り組みを充実させ、利用者数の増加を図る。		
成果指標名	施設利用者数	式又は説明	年間利用者数
	17年度	18年度	
成果指標量	27,973	33,456	
対前年比	-	119.60%	0.00%
到達目標値	35,000	到達目標年度	平成21年度

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		(平成18年度事業)
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である (関係法令等: )
	対象の妥当性	<input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である
	市民ニーズの妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である
市との関与の妥当性	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である
	コストの効率化	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である
	手段の最適化	<input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input checked="" type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている
職場の効率化	職場の効率化	<input type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている <input type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映されやすい
	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している
	成果向上の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある
有効性の評価	市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input checked="" type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている
	妥当性評価<A~E>	B
課題認識		B & G財団の目的である青少年の“徳育・体育”を養う場として、また、競技スポーツだけではなく、誰でも気軽にライフステージに応じた各種スポーツができ、スポーツを楽しんで健康の増進を図る。また、施設を充実させ、年間を通じての市民の憩いの場としても整備していく。
効率性評価<A~E>		D
課題認識		施設の利用料(グラウンド・テニスコート照明を除く)については市民は無料となっており他の施設との公平性を欠くため、使用料の改定が必要である。年間経費については減少傾向にあり、効率的な運用が達成できている。
有効性評価<A~E>		C
課題認識		利用人数については増加しているが、平日の昼の空き時間が多いため、教室等を開催し更なる増加を図る。

平成19年度の状況	<input type="checkbox"/> 重点化している <input type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している <input checked="" type="checkbox"/> 見直し継続している <input type="checkbox"/> 事業を縮小している	<input type="checkbox"/> 休止している <input type="checkbox"/> 他の事業と統合している <input type="checkbox"/> 平成18年度で廃止・完了	説明 集中改革プランにより、指定管理者の導入が課題であるが、指導員の適正配置・財団事業への協力・利用状況等の報告があり専門的要素があるため、指定管理者の導入は困難である。また、使用料の改定については20年度改定の予定である。
-----------	---	--	---

目標値	結果指標量	20,000	結果指標量	14,000
-----	-------	--------	-------	--------

総合評価	受益者負担を見直す必要があるが、現在の無料施設を有料にすると、利用者が激減する可能性がある。また、施設の老朽化に伴い順次改善する必要があるが、大規模な費用がかかるので、長期的な計画をたてて実行していく必要がある。	評価区分<A~E>	C
------	--	-----------	---

平成20年度以降の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する	<input type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了
--------------	---	---	---------------------------------------

平成20年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
効率性	使用料の改定	H20年度	使用料金の増加・利用者の公平性